

一寸光陰不可軽

人国記

スポーツカーの仕事はいくつか手がけながらも、私が本来所属していたのは、「トラック部門」の第3シャシー設計係。初めて自分が本格的に責任を持たされた大仕事は、「頑強」のキャッチフレーズで一世を風靡した「タイタン」のフルモデルチェンジでした。

お孝雄 (62) ⑫

元マツダロードスター主査

広島大に聴講生として通っていた時期でもありました。「強度と性能を維持しつつ、いかに部品を共通化して点数を減らすか」と、いろんな車種のレイアウトと向き合いながら大学のレポートをこなし、睡眠時間を削って精神的にも体力的にもきつい日々が続いていたある時、仕事場で図面を書きながらぶっ倒れてしまったんです。

気が付いたら病院でした。ベッドの上から「時間がないから職場に戻る」と言ったら、上司に「ばかやろう、絶対にはやんと治せ！」と怒鳴られた。

2代目タイタン。29車種のモデルチェンジを手がけた(マツダ提供)

初めて任された大仕事

単なる過労だったんですが、10日間入院しました。モデルチェンジに与えられていた時間は3カ月ほどだったの

で、その1割を無駄にしまい、焦りましたね。

期日が迫りながらも、例えば運転席の部分を傾けられるタイプと固定タイプの両方のギアを共通化することに成功したりして、何とか3割削減にこぎつけました。これは、29種類すべての構造が頭の中に入っていないとうまくいかない。私の場合、子供のころにじっくり観察し、模型を自作したトラックの仕組みが頭の中にたたき込まれていたから実際の図面や実物の構造がすんなりと入ってきたのかな。

こうして、昭和55年に「タイタン」のフルモデルチェンジを無事に行うことができました。

トラックと乗用車の最大の違いは何か。5人乗りの乗用車には5人しか乗りませんが、2ト積みトラックには4トも5トも積むケースがないとはいえない。もちろん過積載は許されませんが、そんな使用も想定して荷重に耐えるものを作らなければならぬのが商用車。スポーツカー並み、いや、それ以上にトラックに求められる限界は高い、というのが私の実感ですね。



九州・山口

産経新聞九州山口版は月ぎの購読料30000円の朝刊紙です。九州山口地域でもご自宅や会社に配達いたします。申し込みは下記のフリーダイヤルか、専用サイトで。

ニュースのご連絡は九州総局

TEL 092(741)7088
FAX 092(726)2572
kyushu@sankei.co.jp

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通
5-23-8
サンライトビル3階

山口支局

TEL 083(923)3333
FAX 083(923)3334
yamaguchi@sankei.co.jp

〒753-0074
山口市中央3-6-2

購読のお申し込みは

☎ 0120(34)3733
www.sankei9.com

販売のお問い合わせは
TEL 092(741)2323

広告のご用は
TEL 06(6633)9474